



平成 23 年 1 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社メデカジャパン
 代表取締役名 代表取締役社長 渡 邊 信 義
 (J A S D A Q ・ コード 9707)
 問い合わせ先 取 締 役 小 野 吉 広
 管 理 本 部 長
 電 話 番 号 048 (631) 0010

業績予想の修正並びに特別利益の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年10月8日付にて発表いたしました、平成23年5月期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

併せて貸倒引当金戻入額の発生に伴う特別利益計上についてお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 5 月期 連結業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 22 年 6 月 1 日～平成 22 年 11 月 30 日) 業績予想数値

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	13,880	770	480	420
今回修正(B)	13,964	941	681	716
増減額(B-A)	84	171	201	296
増減率	0.6%	22.2%	41.9%	70.5%
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 5 月期第 2 四半期)	13,506	671	391	456

(2) 通期 (平成 22 年 6 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日) 業績予想数値

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	27,690	1,310	740	600
今回修正(B)	27,770	1,480	940	895
増減額(B-A)	80	170	200	295
増減率	0.3%	13.0%	27.0%	49.2%
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 5 月期)	26,869	1,166	643	691

2. 平成 23 年 5 月期 個別業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間（平成 22 年 6 月 1 日～平成 22 年 11 月 30 日）業績予想数値

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	12,780	610	400	350
今回修正(B)	12,943	767	563	626
増減額(B-A)	163	157	163	276
増減率	1.3%	25.7%	40.8%	78.9%
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 22 年 5 月期第 2 四半期）	12,429	551	322	480

(2) 通期（平成 22 年 6 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日）業績予想数値

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	25,380	1,020	580	460
今回修正(B)	25,540	1,175	740	735
増減額(B-A)	160	155	160	275
増減率	0.6%	15.2%	27.6%	59.8%
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 5 月期）	24,821	909	488	634

3. 業績予想の修正理由

(1) 連結業績予想の修正理由

連結業績予想の主な修正要因は、当社の個別業績予想の修正によるものであり、これに伴い、連結業績予想を修正いたします。

なお、個別業績予想修正に比して、連結売上高の修正は微増に留まっております。これは、当第 2 四半期連結会計期間において、持分法適用非連結子会社の株式を追加取得し完全子会社化した後に連結子会社とする予定でしたが、株式の追加取得が一部実施できなかったことにより、当第 2 四半期連結会計期間では非連結子会社としており、その結果、当初計画していた当該非連結子会社の売上高 118 百万円が、第 2 四半期連結累計期間の業績予想数値から減少していることによるものです。

(2) 個別業績予想の修正理由

平成 23 年 5 月期第 2 四半期の業績を踏まえ、業績予想を修正いたします。

超高齢者社会が急激に進行する我が国において、要介護高齢者が安心して安全に日々の生活を送ることができる施設として、民間介護事業者への期待感や存在感は益々高まっております。当社介護サービス「そよ風」は、平成 22 年 3 月に発表された平成 21 年度日本版顧客満足度指数調査にて「介護業界ナンバー 1」の評価をいただいたことを励みに、今期はさらに職員の教育研修に注力し、顧客である利用者及び家族の満足度向上に努め、地域の皆様より「そよ風の介護サービスを」と望まれるように、ブランド力

の強化を徹底して図ってまいりました。こうした取り組みの成果として、「そよ風」の存在は地域において着実に浸透し、当第2四半期において、当社介護事業は順調に推移してまいりました。

デイサービス、ショートステイ、グループホーム、有料老人ホーム等、各種介護サービスにおける利用者数は当第2四半期において各サービスいずれも前年を上回り、特にショートステイにおいて、延べ利用者人数が前年同期（平成21年6月～同11月）比1.4万人増と、7%超の顕著な伸びをみせているほか、デイサービスでは前年同期比1.9万人（4.6%増）、グループホームでは同じく7千人増（2.9%増）、有料老人ホームで同じく9千人増（8.9%増）の堅調な業績向上を示しております。これらの要因により、売上高は当初計画を上回る見込みとなっており、通期の売上高は、160百万円の増加を予想しております。

利益面につきましては、上述の売上の増加に対して、全社的な経費適正化施策が功を奏し経費増が小幅に留まったことにより、営業利益、経常利益とも当初計画を上回る見込みとなり、通期の営業利益は155百万円、経常利益は160百万円の増加を予想しております。

以上を踏まえ、当期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、下記4の特別利益の発生等により275百万円の増加を見込んでおります。

4. 特別利益の発生及びその内容について

当第2四半期連結会計期間にて、貸倒懸念先である取引先に対して取引先の財政状態を勘案しながら債権の回収を図り、また、業績が順調であり返済が遅滞なく適正に実行されている取引先に対して計上の見直しを行い、貸倒引当金戻入額94百万円（当第2四半期連結累計期間137百万円）を特別利益に計上いたします。

5. その他

上記の業績予想は、その発表日現在において入手可能な情報及びその業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上